

聖化

Japan Holiness Association

【発行】日本聖化協力会

2018.4.27
No.63



ブレンゲル著「聖潔のしおり」刊行

救世軍 樋口和光

新訳『聖潔のしおり』を刊行

著者サムエル・ブレンゲルは、アブラハム・リンカーンがアメリカの大統領候補として指名された1860年に生まれました。代表作『聖潔の莖』は、日本では1902年に、山室軍平訳で救世軍出版供給部から出版されました。ブレンゲルの名は、聖潔の教師としてよく知られています。この書は、ケズィック・コンベンションでも、多くの講師から紹介され、推奨されてきました。

以前の書名『聖潔の莖』に対して、『聖潔のしおり』とした理由は、若い人にも読んでいただきたいという願いを込めています。翻訳は、東京若枝教会牧師の飯塚俊雄先生にお願いしました。先生は祈りをもって、分かりやすい言葉で聖潔を伝えるために、多くの時間をかけて完成してくださいました。労作の成果は、読まれる方々に伝わることでしょう。

本書で、まずブレンゲルは聖潔の実体験を紹介しています。ジョン・ウエスレーの『キリスト者の完全』に通ずるものがあります。そして、「聖潔とは何か」を聖書を引用しつつ、聖潔を求める人々の実例を取り挙げ、わかりやすく語っています。

読み始めたら最後まで読みたいという誘惑に駆

られます。しかし、じっくり時間をかけて、神さまと向き合いながら読み進めることをお勧めいたします。

聖潔に関する救世軍の取り組み

現在128の国と地域で活動する救世軍では、各地で今もブレンゲルの名を冠した「ブレンゲル修養会」を定期的に行っています。2017年には、南太平洋および東アジア地域における「ブレンゲル修養会」が韓国において開催され、日本からも参加しました。救世軍広報『ときのこえ』は、装丁も新たに、初夏号(5、6月)から「連載」『聖潔の流れに立つ』の掲載が始まりました。この連載は、後日、書籍として出版される予定です。

映画「地の塩 山室軍平」

昨年10月、現代ぶろだくしゅんより、山室軍平の生涯を描いた映画が一般公開されました。東條政利監督は、「聖潔は山室軍平の生涯から外せないでしょう」と言われました。同志社を中退した軍平が、松江のB・F・バックストンを訪ねたとき、祈ってくださったバックストンの姿にも、また救世軍に入隊した軍平が海岸で、いっさいを神に捧げて祈る姿の中にも、転機的な聖潔が描かれています。ぜひ、この映画「地の塩」もご覧ください。

もくじ

- 巻頭言メッセージ…………… p.1
- 「聖化」の継承 神学校の取り組み … p.2-3
- それは「縄目が解けて」の経験(証し) … p.4-5
- ハリマン博士紹介、書籍の案内 …… p.6
- 救世軍の書籍紹介、2018年講師 …… p.7
- 今年の聖化大会日程、編集後記 …… p.8